

- 問1 室町時代に信仰を基盤として団結した民衆が、領主に抵抗して起こした武装蜂起を何と
いうか？
- 問2 琉球王国が都を置き、東アジア諸国を結ぶ海上交通の要衝として栄えた地はどこで
すか？
- 問3 室町時代中期、将軍の継承問題などをめぐって起こり、下剋上の風潮が広まるきっかけ
となった出来事は？
- 問4 室町時代、大規模な内乱の最中に建立され、その後の日本文化の礎となった建物を何と
いう？
- 問5 室町時代、3代将軍足利義満が京都の北山に建てた、北山文化を代表する建築物を何と
いう？
- 問6 後醍醐天皇が行った政治体制が決裂したことを指す言葉は何？
- 問7 床の間や付け書院などの特徴を持つ、後の日本建築の基礎となった様式を何という？
- 問8 勘合貿易が始まるきっかけにもなった、当時朝鮮半島や中国沿岸を荒らしていた海賊集
団のことを何という？
- 問9 吉野が南朝の拠点となった理由として、京都の勢力から身を守るためにどのような地形
環境が重要であった？
- 問10 琉球王国が日本、中国、東南アジア諸国を仲介して行った、輸出入を通じた経済活動を
何といいますか？
- 問11 鎌倉幕府が滅亡した後、天皇中心の政治を再び行おうとして失敗した人物は誰？
- 問12 中世において、寺社の門前や交通の要所に、決まった日にちや回数で開かれる商業活動
の場を何といいますか？
- 問13 室町時代に、幕府から地方の軍事・行政権を与えられ、領地を支配した地方官を何とい
う？
- 問14 15世紀に中継貿易で栄えた東アジアの王国を何という？
- 問15 琉球王国が、貿易の拠点として整備した都は現在のどこにあたるか？
- 問16 足利義満の時代に、公家文化と武家文化が融合して生まれた文化を何という？
- 問17 室町幕府の第3代将軍であり、京都の北山に金閣を建てた人物は誰？
- 問18 室町時代に、幕府が許可を与えた商船が中国の明と行った貿易を何という？
- 問19 室町時代、琵琶湖の水運と連携し、大津や坂本などの港から京都へ物資を陸上輸送して
いた運送業者を何という？
- 問20 室町時代、東山文化を代表する建築物である銀閣（慈照寺）を建てた、室町幕府の8代
将軍は誰？
- 問21 足利尊氏が鎌倉幕府を倒したあとに離反し、吉野に逃れて対立した天皇は誰？

答え合わせ・解説

問1	答え 浄土真宗	浄土真宗は「悪人正機」の教えを掲げ、身分に関係なく救われることを説いたため、農民や商人たちに深く浸透しました。共通の信仰で結ばれた門徒たちは、寺院を中心に強固な団結力を持ちました。この団結が、守護大名に対抗する際の大きな力となり、各地で武装蜂起を起こす原動力となりました。
問2	答え 首里	首里は琉球王国の政治・経済・文化の中心地として整備され、首里城が築られました。日本、中国、東南アジアを結ぶ中継貿易の拠点として、非常に重要な港である那覇とも近い立地です。
問3	答え 応仁の乱	8代将軍足利義政の後継者争いに、有力な大名家である細川氏と山名氏の対立が絡み、京都を中心に約11年間も続いた大乱です。京都は灰燼に帰し、幕府の権威は地に落ちました。
問4	答え 応仁の乱	1467年に始まったこの戦いは、全国の守護大名が東軍・西軍に分かれて戦ったため、日本全土に広がりました。これにより、室町幕府の権威は地に落ち、京都の街は焼け野原となりました。
問5	答え 鹿苑寺金閣	鹿苑寺金閣は、この北山山荘の中核として建てられた舍利殿です。2層と3層に金箔が貼られており、池に映る姿は室町文化の豪華さを象徴しています。
問6	答え 建武の新政	建武の新政では、公家を重んじ武士を軽視する政策が行われました。その結果、土地を失うことへの不安や恩賞への不満を抱いた武士たちの支持を失いました。混乱の中で足利尊氏が離反し、新たな政権へと移行することになりました。
問7	答え 書院造	書院造は、床の間、違い棚、付け書院といった装飾的かつ機能的な要素が備わっているのが最大の特徴です。畳を部屋全体に敷き詰めることが一般的となり、武家だけでなく後に公家や寺院にも取り入れられました。これにより、現在私たちが生活する「和室」の空間デザインが完成しました。
問8	答え 倭寇	倭寇は朝鮮半島や中国沿岸の都市を襲撃し、略奪や密貿易を行っていました。被害に悩まされた明は、日本側にこれらを取り締まるよう要求しました。その結果、室町幕府は正規の貿易船を証明する「勘合符」を発行し、正規の貿易船と海賊を区別することで貿易の安全を図りました。
問9	答え 峻険な山々	吉野は奈良の奥地に位置し、非常に険しい山々に囲まれています。この地形は、大規模な軍勢による攻撃を困難にしました。そのため、南朝は少ない兵力でも長期的に拠点を維持することが可能となりました。
問10	答え 中継貿易	中国、日本、朝鮮、東南アジア諸国を自国の船で結び、それぞれの国の特産品を運ぶ貿易を行いました。例えば、日本の銀や工芸品を中国へ運び、中国の絹織物や陶磁器を東南アジアへ運ぶといった具合に、仲介によって大きな利益を得ました。
問11	答え 後醍醐天皇	後醍醐天皇は足利尊氏や新田義貞らの協力を得て鎌倉幕府を滅ぼしました。その後、天皇が権力を集中させる「建武の新政」を開始しましたが、武士の利益を無視した政策が多く、武士たちの反発を招きました。
問12	答え 定期市	寺社はその権威と安全性を背景に、参拝者が集まる門前や街道の要所に定期市を開かせました。決まった日に開かれるこの市は、農村や都市の人々が物資を交換する場となり、経済の中心地として発展しました。
問13	答え 守護	守護は幕府に任命された地方の支配者で、軍事と警察権だけでなく、徴税権も認められるようになりました。これにより、守護は領地を支配する「守護大名」へと成長し、地域をより強力に統治するようになりました。
問14	答え 琉球王国	琉球王国は、中国（明）、日本、東南アジアの国々を繋ぐ「中継貿易」で莫大な利益を得ました。この貿易によって得た富により、独自の華やかな文化を築き上げました。万国津梁の鐘には、世界の架け橋となるという琉球の誇りが刻まれています。
問15	答え 首里	首里は琉球王国の王都として整備され、首里城が置かれました。ここを拠点に琉球は明や東南アジア諸国との間で中継貿易を行い、各国の特産品を集めて再分配することで大きな利益を得ました。首里はまさに王国の政治・外交の中心地であり、交易により発展した高度な文化が根付く街でした。
問16	答え 北山文化	北山文化の特色は、伝統的な公家文化の優雅さと、力強い武家文化が融合している点にあります。この時期には金閣に代表されるような建築のほか、禅宗の影響を受けた芸術や学問が発展しました。
問17	答え 足利義満	義満は京都の北山に別荘として北山殿を造営し、その象徴として金閣を建てました。金閣は伝統的な公家文化と新興の武家文化を融合させた豪華な建物です。この建築様式は、義満の時代の文化を象徴するものとなりました。
問18	答え 勘合貿易	足利義満が明の皇帝と交渉し、正式な貿易が始まりました。日本側は証明書である「勘合」を持つ船のみが貿易を許可され、日本からは刀剣や工芸品が、明からは生糸や「永楽通宝」などの銅銭が輸入されました。
問19	答え 馬借	馬借（ばしゃく）は、馬の背に荷物を載せて運送を行う業者です。琵琶湖などの水運と組み合わせ、港から京都へ物資を運ぶ重要な役割を果たしました。当時の物流の主役の一つであり、運送を通じて経済的に大きな影響力を持つようになりました。
問20	答え 足利義政	足利義政は、政治への関心を失う一方で、禅宗の思想の影響を受けた「わび・さび」という独特の美的感覚を深めました。自らの山荘として慈照寺（銀閣）を建て、そこを拠点に東山文化を花開かせました。
問21	答え 後醍醐天皇	この武士たちの不満を受け、足利尊氏が後醍醐天皇に反旗を翻しました。尊氏は京都を制圧して新たな天皇を擁立し、後醍醐天皇は吉野へ逃れて「南朝」を開きました。これに対して京都の尊氏側を「北朝」と呼び、以後約60年にわたり両者が争う時代となりました。